

第 2 回_自治体経営改革戦略会議 (H24. 5. 29 開催)

PDCA 型総合計画の構成について

■課題

- ・ 従前の総合計画の体系は、PDCA 導入には不向き
- ・ 分厚い計画書は誰も見ない
- ・ 基礎的な住民サービス（ルーチン）を無理に体系化することは不要
- ・ 進行管理のための進行管理の事務は職員の士気を下げる
- ・ ヤル気のある職員が組織に埋没するもの一般的な事実
- ・ 市長マニフェストの反映

■方向性

- 業務を R（ルーチン）リストと P（プロジェクト）リストに仕分け
- 市長マニフェストを、この R リスト・P リストに落とし込む
→新規プロジェクト立ち上げ、ルーチン業務の改善など
- 地域の将来像も含めて、市民向けの政策広報冊子を作成

業務内容仕分けの考え方

	担当	目標	評価指標
R:ルーチン ・適切にサービスを提供 ・制度改正等に対応	担当課	・堅実な業務執行 ・業務効率化 ・サービス向上	・サービス数 ・人員 ・予算 ・市民の声
P:プロジェクト ・仕組みを変える ・新しい事業を起こす	チーム ※申告制 ※工程表	・スキーム構築 ・社内起業	・利用数、売上、 雇用人数、起業 件数など ・チャレンジ

◎プロジェクトに関する留意事項

- ・ プロジェクトの成否は、人・物・既存制度などのリソースに依存
- ・ ※申告制：関係課スタッフを中心に、意志と能力を有する人材を集結
- ・ ※工程表：リーダーに事業全体のマネジメント権限を付与
- ・ 個人の評価：ルーチン 0.6 + プロジェクト 0.4 ←人事評価フレームを設定

■その他

- ・ 評価指標は、事業目的に合致するものを選定
- ・ 総合計画＝政策広報冊子＋附属資料（R リスト、P リスト） …と理解